

Electronic Journal 第220回 Technical Seminar

色素増感太陽電池★徹底解説

主催：電子ジャーナル

日時：8月21日（木）9:45～17:00

会場：総評会館

定員：90名 ※定員になり次第、締め切らせて頂きます。お早めにお申込み下さい。

主流の結晶Si太陽電池が原材料不足で懸念される中、Siを使わない色素増感太陽電池が脚光を浴びています。これまで事業化の足かせとなっていたスイスローザンヌ工科大学の基本特許が今年4月に失効し、今後ますます開発に拍車がかかるものと見られます。色素増感太陽電池は、結晶Si系に必要な高価な真空装置などが不要で、安価な材料と設備を使い低コストで生産できるメリットがあります。すでに変換効率11%を達成した小型セルの発表もあり、薄膜Si太陽電池に並ぶ勢いを見せています。本セミナーでは、色素増感太陽電池を取り巻く現状からその応用までの最新動向を最前線で活躍されている方々に徹底解説していただきます。

《プログラム》

- 【09:45～10:45】①色素増感太陽電池の課題と展望
産業技術総合研究所 太陽光発電研究センター 有機薄膜チーム 原 浩二郎氏
- 【10:50～11:50】②色素増感太陽電池の開発動向
東京大学 先端科学技術研究センター 特任准教授 内田 聡氏
- 【12:40～13:40】③材料システムから見た色素増感太陽電池
㈱林原生物化学研究所 東京研究室 松井文雄氏
- 【13:45～14:45】④SPD法による色素増感太陽電池の作製技術
㈱SPD研究所 代表取締役 金子正治氏
- 【14:55～15:55】⑤未来型太陽光発電システム研究センターの色素増感太陽電池
岐阜大学大学院 環境エネルギーシステム専攻 准教授 吉田 司氏
- 【16:00～17:00】⑥ペクセル・テクノロジーズの色素増感太陽電池
ペクセル・テクノロジーズ㈱ 代表取締役 宮坂 力氏